

2022年6月1日

神戸学園都市 YMCA こども園 6月えんだより

6月の聖句「探しなさい。そうすれば見つかる。」

マタイによる福音書7章7節～12節

ゴールデンウィークのさなかに、沖縄はすでに梅雨入りしたそうです。子どもたちにとってはありがたいことですが、近畿地方の梅雨入りはまだ先になりそうなので、もうしばらく「五月晴れ」を子どもたちと共に楽しみたいと思います。

先日、数年ぶりに幼少期を過ごした街を訪れる機会がありました。残念ながら阪神淡路大震災で街全体が壊滅的な被害を受け、当時の面影はほとんど残っていません。けれども街を歩きながらこの辺りに豆腐屋さん。そしてこの辺りは「京子ちゃん」の家。当時の思い出がよみがえってきました。豆腐屋さんには、おつかいに行くたびに笑顔で迎えてくれる歯の抜けた陽気なおじさんがいました。理由はよく覚えていませんが、おつかいの時にお金が足りないことがありました。おじさんは、「また今度来るときに持ってきて。」とお豆腐を持っていったボールに入れてくれました。近所の「京子ちゃん」は、5つくらい年下の赤ちゃんでした。母親が用事でちょっと出かける時などに「京子ちゃん」のところに預けられたり、反対に「京子ちゃん」を預かったりすることもありました。下に兄弟がいなかった私は、「京子ちゃん」と過ごすのがとてもうれしかったのを覚えています。「ごめん、ちょっと見てて！」下町だったからかもしれませんが、多くの人々が当たり前のように助け合い、支えあいながら暮らす姿がありました。

イエス様は「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、見つかる。」とおっしゃいました。神様は、求める者に良いものをくださるにちがいないのです。「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」と。

今の時代、お互いに求めることが難しくなっています。仕事でも日常生活でも。また、子どもからお年寄りまで、様々なことを一人で抱え込んで息苦しく不安な日々を送る人々が増えているように感じます。「おかね10円足りない。この次持ってくる!」「ごめん、ちょっと見てて!」お互いに気軽に求め合える関係がもう一度社会の中に広がれば、息苦しさや不安は少しでも小さくなるのではないのでしょうか。まずは神様に求め、探し、門をたたくことを続けつつ、同時に小さな一歩かもしれませんが、子どもたち、保護者の皆さんと共に支え、支えられることを積み重ねる毎日を過ごしていきたいと思います。

| 6月 | 乳児 (0,1,2 歳児) | 幼児 (3,4,5 歳児) |
|------|--|--|
| 月主題 | おもしろい | 動き出す |
| 月の願い | 保育者や友だちと一緒に好きなあそびをくり返し楽しむ中で、まわりのものを見たり触れたりして「おもしろい」と感じる体験を大切に過ごしたいと思います。 | 神様が与えてくださった自然に目を向けて、過ごす中で、「なんだろう」「おもしろそう」と心を動かしながら、様々なあそびを経験して行ってほしいと思います。 |
| 讃美歌 | 「ことりたちは」 こども改 10 | 「きょうだいげんかをしないひは」 こども改 15 |